

顔認証で入退場管理

グリーンサイトと連携

JCV

ソフトバンクの子会社、日本コンピュータビジョン（JCV、東京都千代田区、アンドリユー・シユワベツカー社長）は、MCデータプラス（東京都渋谷区、飯田正生社長）の労務安全書類作成サービス「グリーンサイト」と連携したサービスを9月から提供する。写真を事前登録しておく

と現場入場時に顔認証で作業員が識別でき、体温も計測できる。建設キャリアアップシステム（CCUS）との連携も可能。管理者の工数削減と業務効率化につながる。

新サービスはJCVの人工知能（AI）温度検知ソリューション「センス・サンダー」と連携する。センス・サンダーはAIを活用した顔認証技術と赤外線サーモグラフィで、マスクを着用したままでも0・3秒で温度検知と顔認証が可能。入退場オペレーションと付帯する管理業務を効率



SenseThunder-Mini

5.5インチの大きさ。ドア設置などコンパクトな利用に最適

- 非接触・無人で温度検知
- 顔認証で個人識別も可能
- マスクのままで認証可能



SenseThunder-Air

複数同時に最大5人まで高速で温度検知が可能

センス・サンダーではマスクをしたままでも顔認証が可能